

まちづくり達成状況報告書（事務事業点検シート）

課等名： 水道課 シートNo： 95 作成日： 2024/6/13

① 総合計画上の位置付けと事務事業説明

後期 基本 計画	施策の大綱	V都市基盤の充実	背景・課題 人口減少や節水機器の普及などにより、水需要が減少して給水収益の減少が見込まれる一方で、今後は施設や配水管の老朽化が進み、更新費用がかさんでいきます。 また、不安定な社会情勢の影響を受け、動力費や薬品費などが高騰し、水道事業における経営は厳しい状況が続いていきます。	目的・意図 給水収益の減少については、新規加入者などを対象とした加入分担金の減免や基本料金の減免を実施し、加入者の増加に努めます。 また、水道事業の広域化、共同化、施設のダウンサイジングや廃止を検討し、施設や配水管の更新費用や維持費用の抑制に繋げていきます。
	施策の目標	3快適な都市環境の整備を進める		
	施策	4上水道		
	施策内容	水道事業運営の適正化		
	その他、根拠法令 及び分野別計画	水道法		
	事務事業名	水道事業運営の適正化		

② インプット（投入）

主な予算科目	会計名	
	水道事業会計	
	款	—
	項	—
	目	—
事業		—

③ 主なアクティビティ（活動）とアウトプット（結果）

アクティビティ（活動）				アウトプット（結果）	
活動名	対象者	活動指標（回数・件数・日数等）		活動指標（参加者数・面積等）	
		R5年度実績値	R5年度目標値	R5年度実績値	R5年度目標値
分担金減免	住宅を建てる方	164件	216件	21,719戸（給水戸数）	21,400戸（給水戸数）
水道加入促進に係る料金免除	新規に加入する方、増径をする方	240件	292件	21,719戸（給水戸数）	21,400戸（給水戸数）
スマートフォン決済による収納率向上	すべての水道使用者	5,194件	3,000件	95.5%（収納率）	96.0%（収納率）
広域連携・調整会議	水道事業者	—	—	—	—

④ 初期・中間アウトカム（成果）

指標名	成果指標	
	R5年度実績値	R5年度目標値
純利益	89,843千円	35,052千円

⑤ 最終アウトカム（成果）

指標名	成果指標	
	R5年度実績値	R9年度目標値
純利益	89,843千円	△8,575千円

⑥ 点検

改善の余地						今後の方向性
☐	コスト	☐	活動	☒	成果	☐
業務の振り返り						
経営戦略の財政計画において給水収益は年々減少し、この結果、令和8年度に当期純利益が黒字から赤字になる見込みとなっています。しかし、給水戸数の増加や圏央道常総インターチェンジ周辺開発などの影響を受け、近年の給水収益は減少傾向にありません。したがって、令和9年度の目標値も達成できそうな見込みであるため、目標値を少し高く修正してもよいと思われます。						給水収益については、経営戦略の財政計画ほど減少していません。しかし、近年は不安定な社会情勢により、動力費や薬品費などが高騰し必要経費が増加しています。また、老朽化した施設や配水管の更新も控えており、依然として経営は厳しい状況です。 今後も加入促進などを続けて給水人口や給水収益の増加に努めます。また、広域化、共同化、ダウンサイジング、廃止等についても積極的に検討していきます。